



9月9日は「救急の日」

救急医療および救急業務への正しい理解と認識を深めていただくために、毎年9月9日を「救急の日」として、救急医療の普及啓発活動が全国的に実施されます。

急病や交通事故などの救急事故が発生したとき、救急隊が現場に到着するまでの間、現場に居合わせた人が、速やかに適切な応急処置を実施することで、命を救える可能性が高くなります。応急手当に関する正しい知識と技術を身につけましょう。

消防本部では、救命講習を実施しています。応急手当の方法や救命講習会などについて、彦根市ホームページに掲載しています。

また、救急の日に合わせて、応急手当の普及啓発を目的に「救急フェア」を次のとおり開催します。

📅 9月3日(金)～同10日(金)
各日 10:00～21:00 (10日(金)のみ 15:00まで)

📍 ビバシティ彦根 センターモール

📞 消防本部予防課 ☎ 22-0337 FAX 22-9427

●甲種防火管理再講習

📅 10月22日(金) 13:00～受付

📍 みずほ文化センター (田原町)

👤 90人 (先着順) 申 9月2日(休)～同9日(休)
※詳しくは、「一般社団法人日本防火防災協会」のホームページをご確認ください。

📞 彦根防火保安協会 (消防本部消防総務課内)
☎ 22-0314 FAX 22-9427

火災・救助・救急事故の発生状況 (彦根市・犬上郡) 令和3年上半年期 (1月1日～6月30日まで)

表1 火災	表2 救助	表3 救急
火災件数 21	出場件数 24	出場件数 2,739
建物火災 12	火災 2	火災 8
車両火災 1	交通事故 9	自然災害 1
その他の火災 8	水難事故 1	水難 0
主な火災原因	自然災害 0	交通事故 192
たばこ 4	機械事故 0	労働災害 27
たき火 4	ガス酸欠事故 3	運動競技 10
ごんろ 2	建物事故 1	一般負傷 432
電気機器 2	その他の事故 8	加害 9
ローソク 2	活動件数 17	自損事故 26
(調査中を含む)	救助人員 18	急病 1,878
死者 1	※表中の数値は(件)、死者・負傷者・救助人員・搬送人員は(人)	その他 156
負傷者 6		搬送件数 2,402
		搬送人員 2,417

●滋賀県消防防災講演会

「気象災害から命を守るために～防災気象情報を活かす～」

📅 11月27日(土) 10:00 📍 多賀町中央公民館「多賀結いの森」

申 9月30日(休)までに、氏名、住所、電話番号を「消防協会犬上支部」へ電話・FAX・メールのいずれか

📞 消防協会犬上支部 (消防署犬上分署内)

☎ 38-3130 FAX 38-3119

✉ hikonefd.inukami@ma.city.hikone.shiga.jp

チケット情報

ひこね市文化プラザ

11月12日(金) 15:30 グランドホール 小学生以上

ひこね市文化プラザ25周年記念事業 託児あり(有料・要予約)

水森かおり25周年記念コンサート～歌謡紀行～

📍 指定 【友の会先行】9月18日(土)9:00～同24日(金)19:00

【彦根市民先行】9月25日(土)9:00～10月1日(金)19:00

【一般発売(友の会も購入可)】10月2日(土)9:00～予約開始

一般・彦根市民先行6,500円、友の会6,000円

友の会・彦根市民先行は4枚まで購入可

11月28日(日) 14:00/17:00 グランドホール

しまじろうコンサート しまじろうとクリスマスのねがいごと

📍 指定 【友の会先行】9月19日(日)9:00～予約開始

【一般】9月26日(日)9:00～予約開始

会館特別価格3,480円

3歳未満ひざ上無料(保護者1名につきお子さま1名まで)

チケット窓口引取の方には特典シールをプレゼント(予定)

申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00～19:00)

チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/

9月の休館日：6日月、13日月、21日火、27日月

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】

※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。

※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置

▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサガ滋賀」の表示の設置

みずほ文化センター

10月24日(日)14:00 多目的ホール

彦根亭 みずほ寄席 Vol.40 神奈川公演

📍 自由 【好評発売中】 小学生以上 託児あり(有料・要予約)

前売500円、当日600円

ワンコインで笑顔いっぱい!松竹芸能一押し!の面々が登場!!

11月23日(火・祝) 14:30 多目的ホール

海援隊トーク&ライブ BIWAKOツアー2021 IN HIKONE

📍 指定 【9月3日(金)10:00～販売開始】 小学生以上 託児あり(有料・要予約)

一般3,500円

青少年(25歳未満)2,000円

当日ともに500円増

出演：海援隊

スペシャルカルテット from Shiga

いなえ少年少女合唱団

申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター

☎43-8111 (9:00～17:00)

9月の休館日：7日火、14日火、21日火、24日金、28日火

◎表記の価格は全て税込価格です。

◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。

子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。

テーマ展

9月15日(休)まで

「茶道具の“い・ろ・は”」

多岐にわたる茶道具のそれぞれの用途や造形的な魅力を、分かりやすく紹介します。

9月18日(土)～10月18日(月)

「奇才の絵師 張月樵」

～彦根～京～名古屋への道～



▲藝文苑 張月樵 肖像画 (部分)

彦根出身の張月樵(1765～1832)の作品と画業を紹介します。月樵は、京で四条派の祖・呉春(ごしゅん)らに学び、名古屋へ拠点を移して当地の代表的な絵師の地位を確立し、尾張徳川家の御用もつとめました。円山四條派の枠を超え、多彩な画風の画を手がけています。

①スライドトーク 9月18日(土) 14:00～(30分程度) ※無料

②関連講演会 「張月樵～謎の生涯～」

10月2日(土) 14:00～15:30 ※100円(資料代)

①・②共通事項 講師：当館学芸員 場所：講堂

当日受付(先着35人) 観覧料は別途必要

令和3年度わくわく体験スクール

「茶道を楽しもう」

伝統文化である茶道について学び、お客様の住まいでお茶の体験を行います。



■日時 10月3日(日) 13:30～15:30 (1～3年生)

10:00～12:00 (4～6年生)

■場所 博物館講堂・木造棟

■対象 彦根市・米原市・愛荘町・甲良町・多賀町

・豊郷町在住または在学の小学生

■定員 各15人(応募者多数の場合は抽選)

■参加費 500円(保険料・お茶・菓子代含む)

■申込期間 9月1日(休)～同14日(休)必着

■申込方法 ①各小学校に配布される申込用紙に記入し、持参もしくは郵送

②博物館ホームページ申込フォーム

(https://hikone-castle-museum.jp/)

■【休館日のお知らせ】9月1日(休)

■9月16日(休)・同17日(金)は、展示替えのため一部休室します。



▶花鳥画 張月樵筆 個人蔵

目にすると思わず笑みがこぼれる絵。今回ご紹介するのは、そんな楽しい作品です。作り物のような奇怪な形の岩に、これまた奇妙な形状の水流、その中を気持ちよさそうに行水でもしているかのようなハツカチョウ。手前の3羽の小鳥は豊かな表情を見せ、うち1羽は片脚で体をかくような滑稽な姿勢をしています。今から200年ほど前のこの絵は、彦根出身の絵師、張月樵(1765～1832)によって描かれたものです。月樵は、彦根城下の職人町(今の本町の一部)の表具屋の子として生まれました。はじめ、近隣の醒井村(現米原市醒井)の市川君圭から画を学び、京に出て、松村月溪(後の呉春)門に入りました。月樵は、与謝無村という文人画系の絵師に学んだ後、写実を追究した円山四條派の画風を慕い、独自の画風を形成した実力派絵師です。呉春門下の月樵ではありませんが、彼の作品は、応挙の高弟、長沢芦雪の画風に通じると

写真の作品は、企画展「奇才の絵師 張月樵」彦根～京～名古屋への道」で9月18日(土)～10月18日(月)の期間、展示します。

ころもありません。芦雪画は、基本的には応挙画を踏襲しつつ、デフォルメをきかせ、洒脱で機知にあふれています。擬人化されているような動物を描くのも、芦雪の得意技です。月樵画は、芦雪画に比べ、より気取りがなく、親しみやすい点が魅力です。ある年のこと、月樵は、京を発って名古屋へ向かいました。しばらく寺で仮住まいをしていたようですが、京からやってきた個性的な絵師の画は受け入れられ、人気絵師となった月樵は、本格的に名古屋に居着くことになりました。後には、尾張徳川家の命を受けて城内御殿の襖絵などを描き、御用人支配となって帯刀を許されたと言われています。

【彦根城博物館学芸員 高木文恵】



▲花鳥画(部分)

彦根出身の個性派絵師 張月樵 名古屋でブレイク

とまきの玉手箱 博物館からのメッセージ 第300回